#### 4.各報告書の詳細

すべての分析結果報告書の詳細について記載します。

分析結果報告書確認表示用の画面はA4用紙印刷を考慮し、小さめにレイアウトされて います。

詳細では、個々の入力方法の詳細について記しています。

### 4-1 分析結果報告書[1]

排ガス吸収液試料に関する分析結果報告書[1]の入力方法の詳細を記します

表4-1 排ガス吸収液試料(塩化水素)(分析結果報告書[1])

表4-1 排刀人吸収液試料(」	温化水系)(分析結果報告書[丨])
分析結果	数値(半角)入力。測定回数3回の結果を記入。
	<u>単位:mg/1</u> 。試料(吸収液試料)1Lあたりの塩化水素(H
	Cl)のmgとして記入。
	「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄の
	うち該当する一方に記入。
・分析結果(検出下限値以上)	検出下限値以上では、 <u>分析結果を有効数字3桁</u> (有効数字4桁目
	を四捨五入)で記入。
(検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値未満では、 <u>検出下限値を有効数字1桁</u> で記入。
(注)検出下限 : 例えば、空試験を行っ	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と
てそれらの測定値の標準偏差の3倍相当と	いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は
して求める。	必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され
	రె.
分析開始月日	コンボボックスより選択。
分析終了月日	分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了
	日は定量操作を完了した日。
分析方法	コンボボックスより選択。 <u>「その他」を選んだ場合には、全角文字</u>
	で具体的な分析方法を記入。
使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
分析条件	<u>3回測定(併行測定)のうち、1回目の分析条件を記入</u> 。ただし、
	試料の指示値(吸光度等)については、3回分を記入。
< イオンクロマトグラフ法 >	
試料の希釈(希釈倍率)	数値(半角)入力。
注入量	数値(半角)入力。単位:μl。
試料の指示値	数値(半角)入力。
空試験の指示値	数値(半角)入力。
検量線の作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小濃度	数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/1)
	を記入。「ゼロ(0)」は含めない。
最大濃度	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。

最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
│ │ 装置	コンボボックスより選択。
< 滴定法 >	
試料の分取量	数値(半角)入力。単位:m1。
   試料の滴定量 1~3回	数値(半角)入力。単位:ml。
空試験の滴定量	数値(半角)入力。単位:m 1 。
ニトロベンゼンの使用	コンボボックスより選択。
< イオン電極法 >	
試料の分取量	数値(半角)入力。単位:ml。
酢酸緩衝液の添加量	数値(半角)入力。単位:ml。
定容量	硝酸・過マンガン酸カリウム還流分解法の場合と同様。
試料の指示値 1~3回	数値(半角)入力。
空試験の指示値	数値(半角)入力。
検量線の作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小濃度	数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/1)
	を記入。「ゼロ(0)」は含めない。
最大濃度	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
定量方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
< 吸光光度法 >	
試料の分取量	数値(半角)入力。単位:m1。
吸収セルの光路長	数値(半角)入力。単位:mm。
波長	数値(半角)入力。単位: n m。
試料の指示値 1~3回	数値(半角)入力。
空試験の指示値	数値(半角)入力。
検量線の作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小量	数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の量(mg)を記入。
	「ゼロ(0)」は含めない。
最大量	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
分析実施にあたっての留意した点	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
及び問題と感じた点	<u>150文字以内</u> で簡潔に記入する。
計算式	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
	<u>150文字以内</u> で記入する。原則として、分析条件に記載されて
	いる用語を用いて記入する。
	(試料Am1とり、吸光光度法で測定した。検量線から求めた測

定容液中のC1量はBmgであった。)
この場合の記入例
分析結果(mg-Cl/1)=
(Bmg‐空試験でのCI量mg)÷Aml×1000
分析結果(mg-HCI/1)=分析結果(mg-CI/1)×1.03

### 4-2 分析結果報告書[2]

排ガス吸収液試料に関する分析結果報告書[2]の入力方法の詳細を記します。

分析結果	数値(半角)入力。測定回数3回の結果を記入。
	<u>単位:mg/1</u> 。試料(吸収液試料)1Lあたりのふっ素(F)
	のmgとして記入。
	「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄の
	うち該当する一方に記入。
・分析結果(検出下限値以上)	検出下限値以上では、 <u>分析結果を有効数字3桁</u> (有効数字4桁目
	を四捨五入)で記入。
(検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値未満では、 <u>検出下限値を有効数字1桁</u> で記入。
(注)検出下限 : 例えば、空試験を行っ	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と
てそれらの測定値の標準偏差の3倍相当と	いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は
して求める。	必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され
	<b>ర</b> .
分析開始月日	コンボボックスより選択。
分析終了月日	分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了
	日は定量操作を完了した日。
分析方法	コンボボックスより選択。 <u>「その他」を選んだ場合には、全角文字</u>
	で具体的な分析方法を記入。
使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
分析条件	<u>3 回測定(併行測定)のうち、1 回目の分析条件を記入</u> 。ただし、
	試料の指示値(吸光度等)については、3回分を記入。
< 吸光光度法 >	
試料の分取量	数値(半角)入力。単位:ml。
吸収セルの光路長	数値(半角)入力。単位:mm。
波長	数値(半角)入力。単位:nm。
試料の指示値 1~3回	数値(半角)入力。
空試験の指示値	数値(半角)入力。
検量線の作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小量	数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の量 (mg)を記入。

表4-2 排ガス吸収液試料(ふっ素化合物)(分析結果報告書[2])

	「ゼロ(0)」は含めない。
最大量	
	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単 
	位で記入。
< イオン電極法 >	
試料の希釈(希釈倍率)	数値(半角)入力。
試料の指示値 1~3回	数値(半角)入力。
空試験の指示値	数値(半角)入力。
検量線の作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小濃度	数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/1)
	を記入。「ゼロ(0)」は含めない。
最大濃度	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
定量方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
< イオンクロマトグラフ法 >	
試料の希釈(希釈倍率)	数値(半角)入力。
注入量	数値(半角)入力。単位:µl。
試料の指示値 1~3回	数値(半角)入力。
空試験の指示値	数値(半角)入力。
検量線の作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小濃度	数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/1)
	を記入。「ゼロ(0)」は含めない。
最大濃度	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
装置	コンボボックスより選択。
分析実施にあたっての留意した点	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。
計算式	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
	<u>150文字以内</u> で記入する。原則として、分析条件に記載されてい
	る用語を用いて記入する。排ガス吸収液試料(塩化水素)と同様。

# 4-3 分析結果報告書[3]

排ガス試料に関する分析結果報告書[3]の入力方法の詳細を記します。

表4-3 排ガス試料(硫黄酸化物)(分析結果報告書[3])

	化物)(分析結果報告書[3])
測定回数	1~5の整数(半角)入力。 <u>分析用試料のはかり取りから吸光度等</u>
	の測定までの一連の操作を行った回数(併行測定の回数)を記入。
分析結果	数値(半角)入力。 <u>単位:volppm</u> (標準状態(0 、101.32kPa)に
	おける試料ガス1m³あたりの分析対象物質のcm³とする(乾きガス量
	で求める))。
	「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄の
	うち該当する一方に記入。
	測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1
	回目の分析結果」欄に記入し、「2~5回目の分析結果」欄は記入
	しない。
・ 分析結果(検出下限値以上)	検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目
	を四捨五入)で記入。
 (検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
(注)検出下限 : 例えば、空試験を行っ	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と
てそれらの測定値の標準偏差の3倍相当と	いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は
して求める。	必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され
	。 コンボボックスより選択。
分析終了月日	分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了
	日は定量操作を完了した日。
	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的な分析方法を記入。
使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入
	する。ただし、試料の指示値(吸光度等)については、測定回数
	分を記入する。
方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
吸収瓶を用いて調製する方法	
試料(ガス)分取量	数値(半角)入力。単位:ml。
吸収管の数	数值(半角)入力。整数。
	数值(半角)入力。並茲。 数值(半角)入力。単位:m 1。
吸収液の種類	☆ @ ( 〒 用 ) ハ )。 平 位 · Ⅲ
· 7ス ┓入 /IҲ VZ 1王 示兴	で具体的に記入。
  試料(ガス)分取量	と具体的に記入。 数値(半角)入力。単位:ml。
(標準状態における乾きガス量)	

1	1
< イオンクロマトグラフ法 >	
試料の希釈(希釈倍率)	数値(半角)入力。
注入量	数値(半角)入力。単位:µ1。
試料の指示値 測定回数分	数値(半角)入力。
空試験の指示値	数値(半角)入力。
検量線の作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小濃度	数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/1)
	を記入。「ゼロ(0)」は含めない。
最大濃度	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
	コンボボックスより選択。
< 滴定法 >	
試料の分取量	数値(半角)入力。単位:ml。
試料の滴定量測定回数分	数値(半角)入力。単位:ml。
空試験の滴定量	数値(半角)入力。単位:ml。
< 比濁法、吸光光度法 >	
試料の分取量	数値(半角)入力。単位:ml。
吸収セルの光路長	数値(半角)入力。単位:mm。
波長	数値(半角)入力。単位:nm。
試料の指示値 測定回数分	数値(半角)入力。
空試験の指示値	数値(半角)入力。
検量線の作成の作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小量	数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の量(mg)を記入。
	「ゼロ(0)」は含めない。
最大量	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
< イオン電極法 >	
試料の希釈(希釈倍率)	数値(半角)入力。
試料の指示値測定回数分	数値(半角)入力。
空試験の指示値	数値(半角)入力。
検量線の作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小濃度	数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/1)
	を記入。「ゼロ(0)」は含めない。
最大濃度	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
定量方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。

1	,
分析実施にあたっての留意した点	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
及び問題と感じた点	<u>150文字以内</u> で簡潔に記入する。
計算式	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
	<u>150文字以内</u> で記入する。原則として、分析条件に記載されて
	いる用語を用いて記入する。排ガス吸収液試料(塩化水素)と同様。

## 4-4 分析結果報告書[4]

排ガス試料に関する分析結果報告書[4]の入力方法の詳細を記します。

表4-4 排ガス試料(窒素酸化物)(分析結果報告書[4])

測定回数	1~5の整数(半角)入力。 <u>分析用試料のはかり取りから吸光度等</u>
	<u>の測定までの一連の操作を行った回数(併行測定の回数)を記入</u> 。
分析結果	数値(半角)入力。 <u>単位:volppm</u> (標準状態(0 、101.32kPa)に
	おける試料ガス1m³あたりの分析対象物質のcm³とする(乾きガス量
	で求める))。
	「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄の
	うち該当する一方に記入。
	測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1
	回目の分析結果」欄に記入し、「2~5回目の分析結果」欄は記入
	しない。
・分析結果(検出下限値以上)	検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目
	を四捨五入)で記入。
(検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
(注)検出下限 : 例えば、空試験を行っ	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と
てそれらの測定値の標準偏差の3倍相当と	いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は
して求める。	必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され
	ວ.
分析開始月日	コンボボックスより選択。
分析終了月日	分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了
	日は定量操作を完了した日。
分析方法	コンボボックスより選択。 <u>「その他」を選んだ場合には、全角文字</u>
	で具体的な分析方法を記入。
使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
分析条件	2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入
	<u>する</u> 。ただし、試料の指示値(吸光度等)については、測定回数
	分を記入する。

	1
< 試料溶液の調製 >	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
方法	
	で具体的に記入。
真空フラスコ又は注射筒法の場合	
試料(ガス)分取量	数値(半角)入力。単位:ml。
NOの酸化	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
定容量(試料溶液の量)	数値(半角)入力。単位:ml。
試料(ガス)分取量	数値(半角)入力。単位:ml。
(標準状態における乾きガス量)	
< 吸光光度法 >	
試料の分取量	数値(半角)入力。単位:ml。
吸収セルの光路長	数値(半角)入力。単位:mm。
波長	数値(半角)入力。単位:nm。
試料の指示値 測定回数分	数値(半角)入力。
空試験の指示値	数値(半角)入力。
検量線の作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小量	数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の量(mg)を記入。
	「ゼロ(0)」は含めない。
最大量	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
< イオンクロマトグラフ法 >	
試料の希釈(希釈倍率)	数値(半角)入力。
注入量	数値(半角)入力。単位:µl。
試料の指示値 測定回数分	数値(半角)入力。硝酸イオンと亜硝酸イオンに分けて記入。
空試験の指示値	数値(半角)入力。硝酸イオンと亜硝酸イオンに分けて記入。
検量線の作成	硝酸イオンと亜硝酸イオンに分けて記入。
作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小濃度	数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/1)
	を記入。「ゼロ(0)」は含めない。
最大濃度	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
装置	コンボボックスより選択。
分析実施にあたっての留意した点	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。
	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
	<u>150文字以内</u> で記入する。原則として、分析条件に記載されてい
	る用語を用いて記入する。排ガス吸収液試料(塩化水素)と同様。

### 4-5 分析結果報告書[5]

底質試料1に関する分析結果報告書[5]の入力方法の詳細を記します。

測定までの一連の操作を行った回数(併行測定の回数)を記入。           分析結果         数値(半角)入力。単位: <u>µg/kg</u> 。           「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄の うち該当する一方に記入。           測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1           回目の分析結果」欄に記入し、「2 ~ 5回目の分析結果」欄は記入しない。           ・分析結果(検出下限値以上)           検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目を四捨五入)で記入。           (検出下限未満での検出下限の値)           検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           (1)検出下限:例えば、空試験を行っ           ケ析編果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目を           いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は           必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。           公析開始月日           コンポポックスより選択。           分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了           日は定量操作を完了した日。           分析方法           コンポポックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字           で具体的な分析方法を記入する。           2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入           する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に           ついては、測定回数分を記入する。           <測定回数分を記入する。		
分析結果         数値(半角)入力。単位: <u>µ 8 / k 8.</u> 。           「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄の うち該当する一方に記入。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1 回目の分析結果」欄に記入し、「2 ~ 5回目の分析結果」欄は記入 しない。           ・分析結果(検出下限値以上)         検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目 を四捨五入)で記入。           (検出下限末満での検出下限の値)         検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           (検出下限:例えば、空試験を行っ (注)検出下限:例えば、空試験を行っ (注)検出下限:例えば、空試験を行っ (注)検出下限値を引力してきい。」というエラーメッセージが表示され いう条件で、「分析菌果(検出下限値以上または検出下限本満での検出下限の値)は 必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され さ。           (注)検出下限:例えば、空試験を行っ (注)検出下限での検出下限の値)は の須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され さ。           (注)検出下限:例えば、空試験を行う (注)を用してす。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され さ。           (注)検出下限:例えば、空試験を行う (注)を用してす。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され さ。           (注)検出下限:例えば、空試験を行う (注)を用してす。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され さ。           (注)検出下限:例えば、空気を含む)を開始した日。分析終了 日は定量操作を完了した日。           (注)が続く7月日         コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的な分析方法を記入する。           (対応分析方法 年間)         コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的に記入。           (試料)の強い 1回当たりの潜媒の使用量 1回当たりの抽出時間振とう 超音波         数値(半角)入力。単位:m1。 数値(半角)入力。単位:分。           超音波         数値(半角)入力。単位:分。	測定回数	1~5の整数(半角)入力。 <u>分析用試料のはかり取りからGC/MS等の</u>
「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄の うち該当する一方に記入。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1 回目の分析結果」欄に記入し、「2~5回目の分析結果」欄は記入 しない。           ・分析結果(検出下限値以上)         検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目 を四捨五入)で記入。           (検出下限未満での検出下限の値)         検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           (検出下限未満での検出下限の値)         検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           ((検出下限未満での検出下限の値)         検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           ((た)検出下限:例えば、空試棒で行っ てわらの測定値の標準備差の3倍相当と いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は 必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され る。           (ロオ水のう、         シボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、全角文字 て具体的な分析方法を記入する。           公析所約月日         コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、全角文字 て具体的な分析方法を記入する。           分析約次7月日         シボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、全角文字 て具体的な分析方法を記入する。           分析系件         2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入 する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に ついては、測定回数分を記入する。            (利定用試料液の調製> 試料量、測定回数分         数値(半角)入力。単位:g。            1回当たりの溶媒の使用量 1回当たりの滴端の使用量 1回当たりの抽出時間振とう 超音波         数値(半角)入力。単位:分。            超音波         数値(半角)入力。単位:分。		<u>測定までの一連の操作を行った回数(併行測定の回数)を記入</u> 。
うち該当するー方に記入。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1 回目の分析結果」欄に記入し、「2~5回目の分析結果」欄は記入 しない。           ・分析結果(検出下限値以上)         検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目 を四捨五入)で記入。           (検出下限未満での検出下限の値)         検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           (注)検出下限:         例えば、空試験を行う 分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は 必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され る。           うち焼いて求める。         シガボックスより選択。 イモの他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的な分析方法を記入する。           分析病法         コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的な分析方法を記入する。           分析条件         2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入 する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ビーク面積等)に ついては、測定回数分を記入する。           <加定用試料液の調製>         数値(半角)入力。単位:g。           試料からの抽出 溶媒の種類 1回当たりの溶媒の使用量 加回当たりの溶媒の使用量 加留演波         数値(半角)入力。単位:m1。 数値(半角)入力。単位:分。           20         20           21         21           21         32           21         32           21         32           21         32           32         33           33         34           34         34           35         34           34         34           35         34           34         34           35         34           35         34           35        34           34 </td <td>分析結果</td> <td>数値(半角)入力。単位:<u>μ g / k g</u>。</td>	分析結果	数値(半角)入力。単位: <u>μ g / k g</u> 。
測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1           回目の分析結果」欄に記入し、「2 ~ 5回目の分析結果」欄は記入しない。           ・分析結果(検出下限値以上)           検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目を四捨五入)で記入。           (検出下限未満での検出下限の値)           検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           (注)検出下限:例入ば、空試験を行っ           分析結果は必須項目、確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は           いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は           いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限本満での検出下限の値)は           いう条件で、「分析結果(検出下限値を有効数字1桁で記入。           (注)検出下限(意味着)の治療用当と           いう条件で、「分析結果(検出下限値を有効数字1桁で記入。           (注)検出下限(意味着)の治療(検出下限値はしたいいまの)の (本の)のが行われていない場合は、必須項目と           いう条件で、「分析結果(検出下限値を有効数字1桁で記入。           (注)検出下限(意味着)の (前し)まの分析にない場合は、必須項目と           いう条件で、「分析結果(検出下限値を有効数字1桁で記入。           の場項目         コンボボックスより選択。           分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了           日は定量操作を完了した日。           分析病法         コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。           (1回当たりの溶媒の使用量         数値(半角)入力。単位:g。           1回当たりの海媒の使用量         数値(半角)入力。単位:m1。           1回当たりの海媒の使用量         数値(半角)入力。単位:分。           超音波         数値(半角)入力。単位:分。		「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄の
回目の分析結果」欄に記入し、「2~5回目の分析結果」欄は記入しない。           ・分析結果(検出下限値以上)         検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目を四捨五入)で記入。           (検出下限未満での検出下限の値)         検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           (検出下限未満での検出下限の値)         検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           (注)検出下限:例えば、空試験を行っ         分析結果は必須項目、確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限本満での検出下限の値)は           (注)検出下限:例えば、空試験を行っ         いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限電以上または検出下限の通りは、必須項目という条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は           (注)検出下限:例えば、空試験を行っ         いう条件で、「分析結果(地下限値を有効数字3桁(行むれていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(地下限値を有効数字1桁で記入。           (注)検出下限:例えば、空試験を行っ         いう条件で、「分析結果(地下限値を有効数字1桁で記入。           (注)検出下限:例えば、空試験の須見         ションボボックスより選択。           (方行前法を記入する。         2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。           (対応的分析方法を記入する。         2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。           (訓定用試料液の調製)         試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)については、測定回数分を記入する。           (訓定用試料液の調製)         試料からの抽出 溶媒の種類           コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。           1回当たりの溶媒の使用量         数人力。単位:m1。           1回当たりの抽出時間振とう           超音波         数値(半角)入力。単位:m1。           超音波        数値(半角)入力。単位:分。		うち該当する一方に記入。
しない。           ・分析結果(検出下限値以上)         検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目 を四捨五入)で記入。           (検出下限未満での検出下限の値)         検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           (注)検出下限:例えば、空試験を行っ (注)検出下限:例えば、空試験を行っ たれらの満定値の標準編差の3倍相当と して求める。         分析結果は必須項目、確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限本満での検出下限の値)は 必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され る。           分析開始月日         コンポボックスより選択。           分析開始月日         コンポボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的な分析方法を記入する。           分析方法         コンポボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的な分析方法を記入する。           分析条件         2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入 する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に ついては、測定回数分を記入する。           <測定回数分		測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1
・分析結果(検出下限値以上)       検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目を四捨五入)で記入。         (検出下限未満での検出下限の値)       検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。         (注)検出下限:例えば、空試験を行っ       分析結果は必須項目。確定する際に、個の入力が行われていない場合は、必須項目と         (注)検出下限値標準備差の3倍相当と       パラ条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は         いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は       必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。         (大水ボックスより選択。       シバボックスより選択。         分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了       日は定量操作を完了した日。         分析方法       コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的な分析方法を記入する。         2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。       する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に         クいては、測定回数分を記入する。       シボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。         (1回当たりの溶媒の使用量       数値(半角)入力。単位:g。         1回当たりの溶媒の使用量       数値(半角)入力。単位:m1。         20       数値(半角)入力。単位:分。         20       数値(半角)入力。単位:分。		回目の分析結果」欄に記入し、「2~5回目の分析結果」欄は記入
を四捨五入)で記入。           (検出下限未満での検出下限の値)         検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           (注)検出下限:例えば、空試験を行っ こそれらの測定値の標準備差の3倍相当と いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は め須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され る。           分析開始月日         コンボボックスより選択。           分析開始月日         コンボボックスより選択。           分析所方法         コンボボックスより選択。 ア目は定量操作を完了した日。           分析方法         コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的な分析方法を記入する。           分析条件         2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入 する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に ついては、測定回数分を記入する。           <期定用試料液の調製>         該料量 測定回数分           試料量         測定回数分           数値(半角)入力。単位:g。           1回当たりの溶媒の使用量 1回当たりの流媒の使用量 20位         数値(半角)入力。単位:m1。           20位         24位           20         数値(半角)入力。単位:分。           20         数値(半角)入力。単位:分。		しない。
(検出下限未満での検出下限の値)         検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。           (注)検出下限:例えば、空試験を行っ         分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限本満での検出下限の値)は いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は 必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され る。           分析開始月日         コンボボックスより選択。           分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了           日は定量操作を完了した日。           分析方法         コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的な分析方法を記入する。           分析条件         2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入 する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ビーク面積等)に ついては、測定回数分を記入する。           <加定回数分	<ul> <li>・分析結果(検出下限値以上)</li> </ul>	検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目
(注)検出下限:例えば、空試験を行っ       分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と         (注)検出下限:例えば、空試験を行っ       分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と         いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は       沙須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され         シュ項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され       み.         分析開始月日       コンボボックスより選択。         分析所始方法       コンボボックスより選択。         分析方法       コンボボックスより選択。         分析条件       2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入         支査。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に       ついては、測定回数分を記入する。         <		を四捨五入)で記入。
Cそれらの測定値の標準偏差の3倍相当と して求める。	(検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
レて求める。 必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され る。 分析開始月日 分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了 日は定量操作を完了した日。 分析方法 コンボボックスより選択。 <u>「その他」を選んだ場合には、全角文字</u> で具体的な分析方法を記入する。 2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入 する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に ついては、測定回数分を記入する。 < 2回以上の供行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入 する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に ついては、測定回数分を記入する。 < 2回以上の供行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入 する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に ついては、測定回数分を記入する。 < 1回当たりの溶媒の使用量 1回当たりの溶媒の使用量 約値(半角)入力。単位:m1。 数値(半角)入力。単位:分。 数値(半角)入力。単位:分。	(注)検出下限 : 例えば、空試験を行っ	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と
る。           分析開始月日         コンボボックスより選択。           分析除了月日         分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了 日は定量操作を完了した日。           分析方法         コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的な分析方法を記入する。           分析条件         2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入 する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)については、測定回数分を記入する。           <	てそれらの測定値の標準偏差の3倍相当と	いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は
分析開始月日       コンボボックスより選択。         分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了         日は定量操作を完了した日。         分析方法       コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的な分析方法を記入する。         分析条件       2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。         分析条件       2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。         分析第次の調製>       10以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。          2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。          2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。          2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。          2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。          2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。          2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。          2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。          2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。          2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。          1回当の分析表(単位)          2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。          1回当の効分          2回数の種類          1回当たりの海域の使用量          2回当の          2回当の          2回当の          2回数の          2回数の          2回数の          2回数の          <	して求める。	必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され
分析線了月日 分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了日は定量操作を完了した日。 分析方法 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的な分析方法を記入する。 2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。 2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。 2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。 2回以上の供行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。 3回次用試料液の調製> 試料量 測定回数分 数値(半角)入力。単位:g。 1回当たりの溶媒の使用量 1回当たりの溶媒の使用量 1回当たりの溶媒の使用量 2回以上の供行測定を行った場合には、全角文字で具体的に記入。 3回数の 3回数の 3回当たりの溶媒の使用量 3回当たりの溶媒の使用量 3回当たりの油出時間振とう 3回省(半角)入力。単位:分。 3回省(半角)入力。単位:分。		<b>გ</b> .
日は定量操作を完了した日。           分析方法         コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的な分析方法を記入する。           分析条件         2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。           分析条件         2回以上の供行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。           マミーン         する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)については、測定回数分を記入する。           <	分析開始月日	コンボボックスより選択。
<ul> <li>分析方法</li> <li>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的な分析方法を記入する。</li> <li>2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。</li> <li>2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。</li> <li>する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)については、測定回数分を記入する。</li> <li>&lt; 測定用試料液の調製 &gt;</li> <li>試料量 測定回数分</li> <li>数値(半角)入力。単位:g。</li> <li>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</li> <li>1回当たりの溶媒の使用量</li> <li>数値(半角)入力。単位:m1。</li> <li>数値(半角)入力。単位:分。</li> <li>数値(半角)入力。単位:分。</li> </ul>	分析終了月日	分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了
で具体的な分析方法を記入する。         分析条件       2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入 する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に ういては、測定回数分を記入する。         <加定用試料液の調製>         試料量 測定回数分         数値(半角)入力。単位:g。         ゴンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的に記入。         1回当たりの溶媒の使用量 1回当たりの抽出時間振とう 超音波         数値(半角)入力。単位:m1。         数値(半角)入力。単位:分。         数値(半角)入力。単位:分。		日は定量操作を完了した日。
<ul> <li>分析条件</li> <li>2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入 する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に ついては、測定回数分を記入する。</li> <li>&lt;測定用試料液の調製&gt; 試料量 測定回数分</li> <li>数値(半角)入力。単位:g。</li> <li>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的に記入。</li> <li>1回当たりの溶媒の使用量 1回当たりの抽出時間振とう 超音波</li> <li>数値(半角)入力。単位:m1。</li> <li>数値(半角)入力。単位:分。</li> </ul>	分析方法	コンボボックスより選択。 <u>「その他」を選んだ場合には、全角文字</u>
する。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に ついては、測定回数分を記入する。         <測定用試料液の調製> 試料量 測定回数分         数値(半角)入力。単位:g。         試料からの抽出 溶媒の種類         コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的に記入。         1回当たりの溶媒の使用量         1回当たりの油出時間振とう         超音波         数値(半角)入力。単位:分。		で具体的な分析方法を記入する。
ついては、測定回数分を記入する。         <測定用試料液の調製>         試料量 測定回数分         該料量 測定回数分         数値(半角)入力。単位:g。         試料からの抽出 溶媒の種類         コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。         1回当たりの溶媒の使用量         1回当たりの油出時間振とう         超音波         数値(半角)入力。単位:ml。         超音波	分析条件	2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入
<ul> <li>&lt; 測定用試料液の調製 &gt;</li> <li>試料量 測定回数分</li> <li>数値(半角)入力。単位:g。</li> <li>試料からの抽出 溶媒の種類</li> <li>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</li> <li>1回当たりの溶媒の使用量</li> <li>1回当たりの抽出時間振とう</li> <li>超音波</li> <li>数値(半角)入力。単位:分。</li> </ul>		<u>する</u> 。ただし、試料の分取量、試料の指示値(ピーク面積等)に
試料量 測定回数分       数値(半角)入力。単位:g。         試料からの抽出 溶媒の種類       コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。         1回当たりの溶媒の使用量       数値(半角)入力。単位:ml。         1回当たりの油出時間振とう       数値(半角)入力。単位:分。         超音波       数値(半角)入力。単位:分。		ついては、測定回数分を記入する。
試料からの抽出 溶媒の種類       コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字         1回当たりの溶媒の使用量       数値(半角)入力。単位:ml。         1回当たりの抽出時間振とう       数値(半角)入力。単位:分。         超音波       数値(半角)入力。単位:分。	<測定用試料液の調製>	
で具体的に記入。1回当たりの溶媒の使用量数値(半角)入力。単位:ml。1回当たりの抽出時間振とう数値(半角)入力。単位:分。超音波数値(半角)入力。単位:分。	試料量 測定回数分	数値(半角)入力。単位:g。
1回当たりの溶媒の使用量数値(半角)入力。単位:ml。1回当たりの抽出時間振とう数値(半角)入力。単位:分。超音波数値(半角)入力。単位:分。	試料からの抽出 溶媒の種類	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
1回当たりの抽出時間振とう 数値(半角)入力。単位:分。 超音波 数値(半角)入力。単位:分。		で具体的に記入。
超音波数値(半角)入力。単位:分。	1回当たりの溶媒の使用量	数値(半角)入力。単位:ml。
	1回当たりの抽出時間振とう	数値(半角)入力。単位:分。
抽出回数       数値(半角)入力。単位:回。	超音波	数値(半角)入力。単位:分。
	抽出回数	数値(半角)入力。単位:回。

表4-5 底質試料1(ベンゾ(a)ピレン)(分析結果報告書[5])

液・液抽出	溶媒の種類	  コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文
		で具体的に記入。
1回当たり	〕の溶媒の使用量	数值(半角)入力。単位:m 1 。
	)の抽出時間振とう	数値(半角)入力。単位:分。
抽出回数		数値(半角)入力。単位:回。
クリーンア		コンボボックスより選択。
		「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
濃縮の方法	ロータリーエハ゛ホ゜レーター	実施した場合には、チェックボックスにチェック。
	КД	実施した場合には、チェックボックスにチェック。
	窒素吹き付け	実施した場合には、チェックボックスにチェック。
	その他の方法	その他の方法を実施した場合には、全角文字で具体的に記入。
定容量(測	定用試料液量)	数值(半角)入力。単位:m1。
< G C / M S		
GC 型式		」 すべての項目とも、コンボボックスより選択。「その他」を選ん;
MS 型式		 場合には、全角文字で具体的に記入。
关	型式	
イオ	ン検出法	
カラム		ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
		で具体的に記入。
	内径	」 数値(半角)入力。単位:mm。
	長さ	」 数値(半角)入力。単位:m。
	膜厚	」 数値(半角)入力。単位:μ m。
カラム昇温	条件	
		  とも数値(半角)入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終
		の温度と温度保持を記入。
キャリヤー	ガス条件 種類	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文
		で具体的に記入。
	流量	
	圧力	数値(半角)入力。
		  単位については、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ <sup> </sup>
		合には、全角文字で具体的に記入。
注入	皇	
	注入口温度	数値(半角)入力。単位: 。
	注入方式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文
		で具体的に記入。
測定用質量	数	すべての項目とも、数値(半角)入力。
		定量に用いた質量数1つを記入。

	1
< 標準原液 >	コンボボックスより選択。
購入:メーカー名	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
< 検出下限 >	
検出下限	数値(半角)入力。試料中の濃度(μg/kg)として記入。
<検量線の作成等>	
定量方法 方法	コンボボックスより選択。
シリンジスパイク内標準物質	
使用の有無	コンボボックスより選択。
添加物質	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
添加量	数値(半角)入力。GC/MS測定用試料液中の量(ng)で記入。
サンプルスパイク内標準物質	
使用の有無	コンボボックスより選択。
添加物質	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
添加量	数値(半角)入力。試料への添加量(ng)で記入。
回収率	数値(半角)入力。単位:%。
(注)サンプルスパイク内標準物質とは、「タ	▶因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」では「サロゲート」と表記
されている。	
検量線の作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小量	数値(半角)入力。GCの注入量(ng)を記入。「ゼロ(0)」は含
	めない。
最大量	数値(半角)入力。単位:最小量と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
試料の指示値測定回数分	数値(半角)入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
空試験の指示値	数値(半角)入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
分析実施にあたっての留意した点	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。
	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
	<u>150文字以内</u> で記入する。原則として、分析条件に記載されてい
	る用語を用いて記入する。排ガス吸収液試料(塩化水素)と同様。

#### 4-6 分析結果報告書[6]

底質試料2に関する分析結果報告書[6]の入力方法の詳細を記します。ここには、「ダ イオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」に規定する抽出方法の場合の結果を記入す る。「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」の規定以外の抽出方法の場合には、 分析結果報告書[7]に記入する。

表4-6 底質試料2(ダイオキシン類)(分析結果報告書[6])

測定回数		1~5の整数(半角)入力。 <u>分析用試料のはかり取りからGC/MS等の</u>
		<u>測定までの一連の操作を行った回数(併行測定の回数)を記入。</u>
分析結果		数値(半角)入力。 <u>単位:pg/g</u> 。
		(分析を実施しない項目があった場合には、「9999」と入力)
		「定量下限値以上」、「検出下限~定量下限」又は「検出下限未満
		での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。
		測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1
		回目の分析結果」欄に記入し、「2~5回目の分析結果」欄は記入
		しない。
・分析結果(定	∈量下限値以上)	定量下限値以上では、 <u>有効数字 2 桁</u> (有効数字 3 桁目を四捨五入)
		で記入。
(検出下限~定	Ξ量下限)	検出下限以上定量下限値未満では、 <u>有効数字2桁</u> (有効数字3桁
		目を四捨五入)で記入。
(検出下限未満	での検出下限の値)	検出下限値未満では、 <u>検出下限値を有効数字1桁</u> で記入。
(注)分析結果は必	必須項目。確定する際に、	値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(定量下限値
以上、検出下限以上	上定量下限未満の値または	検出下限未満での検出下限の値)は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」
というエラーメッt	ュージが表示される。	
検出下限、定量下	「限とは、試料における検	出下限、定量下限値を示す。
分析条件		2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入
		<u>する</u> 。ただし、試料の分取量については、測定回数分を記入する。
<抽出>		数値(半角)入力。単位:g。測定回数分を記入する。
試料のはかり	)取り量	「PCDDs及びPCDFs用」と「DL-PCB用」で異なる取り方を行った場合
		等には、「メモ」欄にその概要を記入する。
抽出方法		コンボボックスより選択。
		 「その他」の方法の場合には、分析結果報告書[7]に記入する。
ソックスレー抽出	溶媒	<b>トル</b> エン
	抽出時間	数値(半角)入力。単位:時間。
		数値(半角)入力。単位:時間。
	抽出時間 溶媒量	数値(半角)入力。単位:時間。 数値(半角)入力。単位:ml。
	抽出時間	数値(半角)入力。単位:時間。 数値(半角)入力。単位:ml。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
抽出液の濃約	抽出時間 溶媒量 ろ紙の種類	数値(半角)入力。単位:時間。 数値(半角)入力。単位:ml。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的に記入。
 抽出液の濃約	抽出時間 溶媒量 ろ紙の種類	数値(半角)入力。単位:時間。 数値(半角)入力。単位:ml。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	抽出時間 溶媒量 ろ紙の種類	数値(半角)入力。単位:時間。 数値(半角)入力。単位:ml。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 で具体的に記入。

クリーンアッフ゜丿	用の試料	数値(半角)入力。単位:ml。
(抽出液の分取量)		「PCDDs及びPCDFs用」と「DL-PCB用」に別々に取らなかった(一編
		として取った)場合には、同じ数値を記入。PCDDs及びPCDFs用とD
		-PCB用と異なる取り方を行った場合には、「メモ」欄にその概要を
		記入。
クリーンアッフ゜ス	スパイク 添加	コンボボックスより選択。
	添加箇所	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
		で具体的に記入。
< クリーン:	アップ>	
A 硫酸処理		すべての項目とも、コンボボックスより選択。
シリカケ゛ルクロマ	71	
多層シリカゲ	ルクロマト	
B その他の	操作	すべての操作とも、コンボボックスより選択。「その他」を選んた
GC/MS分	析用試料液の調製方法	場合には、全角文字で具体的に記入。
C 硫黄分除:	去の処理	すべての操作とも、コンボボックスより選択。「その他」を選んた
		場合には、全角文字で具体的に記入。
クリーン	アップ方法	上記A~Cの記号を用いて記入する。
転用溶媒		コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
		で具体的に記入。
GC/MS分析	用試料液	
P	CDDs及びPCDFs用	数値(半角)入力。単位:µl。
DL	PCB用	
< G C / M	S >	(対応物質ごとにGC/MS1~5に記入する)
対応物質	PCDDs及びPCDFs DL-PCB	チェックボックスにチェック。分析対象とした塩素化物を選択。
G C	型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
		で具体的に記入。
カラム	型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
		で具体的に記入。
	内径	数値(半角)入力。単位:mm。
	長さ	数値(半角)入力。単位:m。
	膜厚	数値(半角)入力。単位:µm。
昇温条件		温度( )、温度保持(分)、昇温速度( /分)、昇温回数(回)
		とも数値(半角)入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終
		の温度と温度保持を記入。
注入	里	数値(半角)入力。単位:GCへの注入量(μ1)を記入。
	注入口温度	数値(半角)入力。単位: 。
	注入方式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字

	1
キャリヤーガス条件 流量	数値(半角)入力。単位:ml/分。
<b>正力</b>	数値(半角)入力。
	単位については、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場
	合には、全角文字で具体的に記入。
M S 型式 型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
測定時の分解能	コンボボックスより選択。
イオン化 方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
電圧	コンボボックスより選択。
電流	コンボボックスより選択。
イオン源温度	数値(半角)入力。単位: 。
< 検量線の作成 >	
PCDDs及びPCDFs 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小濃度	数値(半角)入力。GCに注入する標準液の濃度(ng/ml)を
	記入。「ゼロ(0)」は含めず、異性体で異なる場合には最小値を記
	$\lambda_{\circ}$
最大濃度	数値(半角)入力。単位:最小濃度と同じ。異性体で異なる場合
	には、最大値を記入。
繰り返し数	数値(半角)入力。整数。
DL-PCB 作成点数	PCDDs及びPCDFsと同様に記入。
作成範囲 最小濃度	
最大濃度	
繰り返し数	
標準物質(液)	
PCDDs及びPCDFs 製造メーカー	製造メーカーは、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合に
開封後の月数	は、全角文字で具体的に記入。
DL-PCB 製造メーカー	開封後の月数は、数値(半角)入力。単位:月。
開封後の月数	
装置安定性 感度変動	数値(半角)入力。単位:%。
保持時間変動	数値(半角)入力。単位:%。
	検量線作成時の感度変動及び保持時間変動を記入。例えば、その1
	日の変動(%)の概略値(異性体で異なれば、その最大値)。
< 内標準物質の添加量と回収率 >	使用した内標準物質に該当する欄に記入。「その他」の内標準物質
< 内標準物質の添加量と回収率> 	使用した内標準物質に該当する欄に記入。「その他」の内標準物質 を使用した場合には、全角文字で具体的に記入。
< 内標準物質の添加量と回収率 > クリーンアップスパイク 添加量	
	を使用した場合には、全角文字で具体的に記入。

  <空試験値及び相対感度係数 >	
空試験値(操作ブランク)	数値(半角)入力。試料中の濃度(pg/g)に換算した値で記入(分
	析結果と同じ単位とする)。 <u>空試験値が検出されない場合には記入</u>
	<u>しない(空欄とする)</u> 。「検出される空試験値」とは、基本的にはク
	ロマトグラム上でS/N比が3以上。この場合には、空試験値を算出し、
	試料の分析結果を算出するときに引き算に用いる空試験値。
相対感度係数(RRFcs)	数値(半角)入力。2つのモニターイオン(質量数)では平均値を記入。
相対感度係数(RRFrs)	数値(半角)入力。2つのモニターイオン(質量数)では平均値を記入。
	検量線(5点で3回以上の繰り返し回数で15点以上測定したときの
	検量線)作成でのRRF。したがって、通常は、過去に作成したRRF。
< 検出下限値 >	数値(半角)入力。 <u>有効数字1桁</u> で記入。
装置の検出下限	GC/MSで検出できる最小量(pg)を記入。
試料における検出下限	検出できる試料中の最小濃度(pg/g)を記入(分析結果と同じ単
	位とする)。
試料測定時の検出下限	検出できる試料中の最小濃度(pg/g)を記入(分析結果と同じ単
	位とする)。 <u>分析結果が検出下限未満であった場合に記入する</u> 。
< 測定質量数 >	各塩素化物ごとに2つまでを選択(定量に用いた質量数を選択)。
	<u>質量数の表記は、記載しているマニュアル等により異なっている</u>
	こともあり、質量数0.01以下ではそのことを考慮して選択する(近
	<u>い質量数を選択する)</u> 。「その他」を選んだ場合には、数値(半角)
	で具体的に記入。

#### 4-7 分析結果報告書[7]

底質試料2に関する分析結果報告書[7]の入力方法の詳細を記します。ここには、「ダ イオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」の規定以外の抽出方法の場合の結果を記入 する。「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」に規定する抽出方法の場合には、 分析結果報告書[6]に記入する。

測定回数	1~5の整数(半角)入力。 <u>分析用試料のはかり取りからGC/MS等の</u>
	<u>測定までの一連の操作を行った回数(併行測定の回数)を記入</u> 。
分析結果	数値(半角)入力。 <u>単位:pg/g</u> 。
	(分析を実施しない項目があった場合には、「9999」と入力)
	「定量下限値以上」、「検出下限~定量下限」又は「検出下限未満
	での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。
	測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1
	回目の分析結果」欄に記入し、「2~5回目の分析結果」欄は記入
	しない。

表4-7 底質試料2(ダイオキシン類)(分析結果報告書[7])

<ul> <li>・分析結果(定量下限値以上)</li> </ul>	定量下限値以上では、 <u>有効数字2桁</u> (有効数字3桁目を四捨五入)
	で記入。
(検出下限~定量下限)	検出下限以上定量下限値未満では、 <u>有効数字 2 桁</u> (有効数字 3 桁
	目を四捨五入)で記入。
(検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値未満では、 <u>検出下限値を有効数字1桁</u> で記入。
(注)分析結果は必須項目。確定する際に、	値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(定量下限値
以上、検出下限以上定量下限未満の値または	検出下限未満での検出下限の値)は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」
というエラーメッセージが表示される。	
検出下限、定量下限とは、試料における検	出下限、定量下限値を示す。
分析条件	2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入
	<u>する</u> 。ただし、試料の分取量については、測定回数分を記入する。
<抽出>	数値(半角)入力。単位:g。測定回数分を記入する。
試料のはかり取り量	「PCDDs及びPCDFs用」と「DL-PCB用」で異なる取り方を行った場合
	等には、「メモ」欄にその概要を記入する。
抽出方法  方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
溶媒	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
高速溶媒抽出(ASE)	
メーカー	全角文字で具体的に記入。
型式	全角文字で具体的に記入。
抽出時間	数値(半角)入力。単位:時間。
溶媒量	数値(半角)入力。単位:ml。
圧力	数値(半角)入力。単位:psi。
温度	数値(半角)入力。単位: 。
static	数値(半角)入力。単位:分。
Flush	数値(半角)入力。単位:%。
	数値(半角)入力。単位:回。
自動ソックスレー	
メーカー	全角文字で具体的に記入。
型式	全角文字で具体的に記入。
抽出時間	数値(半角)入力。単位:時間。
溶媒量	数値(半角)入力。単位:ml。
迅速自動抽出(ソックスサーム)	
メーカー	全角文字で具体的に記入。
型式	全角文字で具体的に記入。
抽出時間	数値(半角)入力。単位:時間。
溶媒量	数値(半角)入力。単位:ml。

その他	メーカー	全角文字で具体的に記入。
	型式	全角文字で具体的に記入。
	抽出時間	数値(半角)入力。単位:時間。
	溶媒量	数値(半角)入力。単位:ml。

## 4-8 分析結果報告書[8]

水質試料に関する分析結果報告書[8]の入力方法の詳細を記します。

表4-5 水質試料(有機スズ化合物)(分析	「結果報告書「81)
-----------------------	------------

測定回数	1~5の整数(半角)入力。 <u>分析用試料のはかり取りからGC/MS等の</u>
	<u>測定までの一連の操作を行った回数(併行測定の回数)を記入</u> 。
分析結果	数値(半角)入力。単位: <u>μ g / 1</u> 。ただし、トリブチルスズ化合
	物については、ビストリブチルスズオキシドの量に換算した濃度(T
	BT0換算した濃度)とする(換算方法は、推奨方法4.1 を参照する)。
	トリフェニルスズ化合物については、塩化物としての濃度とする。
	実施要領5の希釈方法に従って <u>水で1000倍希釈して調製した分</u>
	析試料中の濃度を記入。
	(分析を実施しない項目があった場合には、「9999」と入力)
	「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄の
	うち該当する一方に記入。
	測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1
	回目の分析結果」欄に記入し、「2~5回目の分析結果」欄は記入
	しない。
<ul> <li>・分析結果(検出下限値以上)</li> </ul>	検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目
	を四捨五入)で記入。
(検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
(注)検出下限 : 例えば、空試験を行っ	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と
てそれらの測定値の標準偏差の3倍相当と	いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は
して求める。	必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され
	వ.
分析開始月日	コンボボックスより選択。
分析終了月日	分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了
	日は定量操作を完了した日。
分析方法	コンボボックスより選択。 <u>「その他」を選んだ場合には、全角文字</u>
	で具体的な分析方法を記入する。
誘導体化	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。

分析条件	2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入
	<u>する</u> 。ただし、試料の指示値(ピーク面積等)については、測定
	回数分を記入する。
< 測定用試料液の調製 >	
試料量 測定回数分	数値(半角)入力。単位:ml。
試料からの抽出 塩酸	数値(半角)入力。単位:ml。使用しないときは「0」を記入。
塩化ナトリウム	数値(半角)入力。単位:g。使用しないときは「0」を記入。
溶媒の種類	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文 <sup>5</sup>
	で具体的に記入。
溶媒の使用量 1回目	数値(半角)入力。単位:m1。
2回目	」 数値(半角)入力。単位:m1。2回行わなかったときは「0」を
	記入。
1回当たりの抽出時間振とう	数値(半角)入力。単位:分。
抽出回数	数値(半角)入力。単位:回。
クリーンアップ方法	コンボボックスより選択。
	「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
濃縮の方法 ロータリーエバポレーター	実施した場合には、チェックボックスにチェック。
ΚD	実施した場合には、チェックボックスにチェック。
窒素吹き付け	実施した場合には、チェックボックスにチェック。
その他の方法	その他の方法を実施した場合には、全角文字で具体的に記入。
定容量(測定用試料液量)	数值(半角)入力。単位:m1。
< G C / M S >	
G C 型式	」 すべての項目とも、コンボボックスより選択。「その他」を選ん
M S 型式	場合には、全角文字で具体的に記入。
装置型式	
イオン検出法	
カラム 型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文
	で具体的に記入。
内径	数値(半角)入力。単位:mm。
長さ	数値(半角)入力。単位:m。
膜厚	数值(半角)入力。単位:μm。
カラム昇温条件	温度()、温度保持(分)、昇温速度(/分)、昇温回数(回
	とも数値(半角)入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終
	の温度と温度保持を記入。
キャリヤーガス条件 種類	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文
	で具体的に記入。
流量	数値(半角)入力。単位:m1/分。
压力	数值(半角)入力。
	単位については、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ
	合には、全角文字で具体的に記入。

注入	量	数値(半角)入力。 G C への注入量 ( μ Ι )を記入。
	注入口温度	数値(半角)入力。単位: 。
	注入方式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
		で具体的に記入。
測定用質	量数	すべての項目とも、数値(半角)入力。
		定量に用いた質量数1つを記入。
< 標準原液	>	
区分		コンボボックスより選択。
購入:メ	ーカー名	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
		で具体的に記入。
< 検出下限	>	
検出下限		数値(半角)入力。試料中の濃度(μg/1)として記入。
<検量線の	作成等 >	
定量方法	方法	コンボボックスより選択。
シリンシ゛スパ゜	们内標準物質	
使用の	有無	コンボボックスより選択。
添加物	質	 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
		で具体的に記入。
添加量		」 数値(半角)入力。GC/MS測定用試料液中の量(ng)で記入。
サンフ゜ルスハ゜	们内標準物質	
使用の	有無	コンボボックスより選択。
添加物	質	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
		で具体的に記入。
添加量		」 数値(半角)入力。試料への添加量( n g )で記入。
回収率		数値(半角)入力。単位:%。
(注)サンプルフ	パイク内標準物質とは、	「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」では「サロゲート」と表記
されている。		
検量線の	作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
	作成範囲 最小量	」 数値(半角)入力。GCの注入量(ng)を記入。「ゼロ(0)」は含
		めない。
	最大量	数値(半角)入力。単位:最小量と同じ。
:	最高濃度の指示値	」 数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
		位で記入。
試料の指	示值 測定回数分	数値(半角)入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
空試験の	指示值	数値(半角)入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。

参考 : 分析用試料の調製 (水で10	
00倍希釈して調製する方法)	
・使用した容器	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
・使用した水	で具体的に記入。
・共通試料の量	数値(半角)入力。単位:ml。
・定容量	数値(半角)入力。単位:ml。
・分析用試料を調製してから分析	
操作(抽出操作)までの時間	数値(半角)入力。単位:分。
分析実施にあたっての留意した点	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
及び問題と感じた点	<u>150文字以内</u> で簡潔に記入する。
計算式	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
	<u>150文字以内</u> で記入する。原則として、分析条件に記載されてい
	る用語を用いて記入する。排ガス吸収液試料(塩化水素)と同様。

# 4-9 分析結果報告書[9]

水質試料に関する分析結果報告書[9]の入力方法の詳細を記します。

測定回数	1~5の整数(半角)入力。 <u>分析用試料のはかり取りからGC/MS等の</u>
	<u>測定までの一連の操作を行った回数(併行測定の回数)を記入</u> 。
分析結果	数値(半角)入力。単位: <u>μ g / 1</u> 。
	実施要領5の希釈方法に従って <u>水で1000倍希釈して調製した分</u>
	析試料中の濃度を記入。
	(分析を実施しない項目があった場合には、「9999」と入力)
	「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄の
	うち該当する一方に記入。
	測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1
	回目の分析結果」欄に記入し、「2~5回目の分析結果」欄は記入
	しない。
<ul> <li>・分析結果(検出下限値以上)</li> </ul>	検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁(有効数字4桁目
	を四捨五入)で記入。
(検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
(注)検出下限 : 例えば、空試験を行っ	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目と
てそれらの測定値の標準偏差の3倍相当と	いう条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は
して求める。	必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示され
	<b>ర</b> .

表4-5 水質試料(有機塩素化合物)(分析結果報告書[9])

分析開始月日	コンボボックスより選択。
分析終了月日	分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了
分析方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的な分析方法を記入する。
分析条件	<u>2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入</u> ┃
	<u>する</u> 。ただし、試料の指示値(ピーク面積等)については、測定
	回数分を記入する。
<測定用試料液の調製>	
	数値(半角)入力。単位:ml。
試料からの抽出方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で
	具体的に記入。
溶媒抽出 塩化ナトリウム	数値(半角)入力。単位:g。使用しないときは「0」を記入。
溶媒の種類	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
	数値(半角)入力。単位:ml。
溶媒の使用量 1回目	数値(半角)入力。単位:ml。2回行わなかったときは「0」を
2回目	記入。
1回当たりの抽出時間振とう	数値(半角)入力。単位:分。
抽出回数	数値(半角)入力。単位:回。
固相抽出 型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
種類	で具体的に記入。
クリーンアップ方法	コンボボックスより選択。
	「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
濃縮の方法 ロータリーエバポレーター	実施した場合には、チェックボックスにチェック。
K D	実施した場合には、チェックボックスにチェック。
窒素吹き付け	実施した場合には、チェックボックスにチェック。
その他の方法	その他の方法を実施した場合には、全角文字で具体的に記入。
定容量(測定用試料液量)	数値(半角)入力。単位:ml。
< G C / M S >	
G C 型式	すべての項目とも、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ
M S 型式	場合には、全角文字で具体的に記入。
装置型式	
イオン検出法	
カラム 型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
1	
内径	数値(半角)入力。単位:mm。
内径 長さ	数値(半角)入力。単位:mm。 数値(半角)入力。単位:m。

カラム昇温条件	温度()、温度保持(分)、昇温速度(/分)、昇温回数(回)
	とも数値(半角)入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終
	の温度と温度保持を記入。
キャリヤーガス条件 種類	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
流量	数値(半角)入力。単位:ml/分。
圧力	数値(半角)入力。
	単位については、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場
	合には、全角文字で具体的に記入。
注入    量	数値(半角)入力。GCへの注入量(μΙ)を記入。
注入口温度	数値(半角)入力。単位: 。
注入方式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
測定用質量数	すべての項目とも、数値(半角)入力。
	定量に用いた質量数1つを記入。
<標準原液 >	
区分	コンボボックスより選択。
購入:メーカー名	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
< 検出下限 >	
検出下限	数値(半角)入力。試料中の濃度(μg/1)として記入。
<検量線の作成等 >	
定量方法 方法	コンボボックスより選択。
シリンジスパイク内標準物質	
使用の有無	コンボボックスより選択。
添加物質	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
添加量	数値(半角)入力。GC/MS測定用試料液中の量(ng)で記入。
サンプルスパイク内標準物質	
使用の有無	コンボボックスより選択。
添加物質	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
	で具体的に記入。
添加量	数値(半角)入力。試料への添加量(ng)で記入。

(注) サンプルスパイク内標準物質とは、「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」では「サロゲート」と表記 されている。

検量線の作成 作成点数	数値(半角)入力。整数。
作成範囲 最小量	数値(半角)入力。GCの注入量(ng)を記入。「ゼロ(0)」は含
	めない。
最大量	数値(半角)入力。単位:最小量と同じ。
最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単
	位で記入。
試料の指示値 測定回数分	数値(半角)入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
空試験の指示値	数値(半角)入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
参考:分析用試料の調製(水で10	
00倍希釈して調製する方法)	
・使用した容器	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字
・使用した水	で具体的に記入。
・共通試料の量	数値(半角)入力。単位:ml。
・定容量	数値(半角)入力。単位:ml。
・分析用試料を調製してから分析	
操作(抽出操作)までの時間	数値(半角)入力。単位:分。
分析実施にあたっての留意した点	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
及び問題と感じた点	<u>150文字以内</u> で簡潔に記入する。
計算式	全角文字入力。「。」「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、
	<u>150文字以内</u> で記入する。原則として、分析条件に記載されてい
	る用語を用いて記入する。排ガス吸収液試料(塩化水素)と同様。